



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場会社名 株式会社 モリタホールディングス

上場取引所 東

コード番号 6455 URL <http://www.morita119.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理サービス本部長 (氏名) 金岡 真一

TEL 06-6208-1915

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	7,743	△20.7	△510	—	△358	—	△322	—
26年3月期第1四半期	9,769	2.2	△235	—	△180	—	△255	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 245百万円 (301.6%) 26年3月期第1四半期 61百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△6.96	—
26年3月期第1四半期	△5.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	78,759	—	44,220	—	—	54.9
26年3月期	85,553	—	44,111	—	—	50.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 43,201百万円 26年3月期 42,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,500	△2.0	1,000	△2.7	1,050	△3.1	600	15.6	12.96
通期	70,000	△2.3	6,850	2.3	7,050	1.0	4,100	16.2	88.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	46,918,542 株	26年3月期	46,918,542 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	626,482 株	26年3月期	622,977 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	46,293,611 株	26年3月期1Q	44,580,163 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、企業収益や個人消費は緩やかな回復傾向にありましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動、エネルギーコストの上昇や原材料価格の値上げなど景気の先行きに対する懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は7,743百万円(前年同四半期比2,026百万円減、20.7%減)、営業損失は510百万円(前年同四半期は235百万円の損失)、経常損失は358百万円(前年同四半期は180百万円の損失)、四半期純損失は322百万円(前年同四半期は255百万円の損失)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①消防車輛

消防車輛事業は、受注は順調に推移しておりますが、高付加価値商品の出荷が第2四半期以降に偏重する見通しであることから、売上高は1,408百万円(前年同四半期比47.8%減)となりました。

②防災

防災事業は、消火器の販売が堅調に推移したことにより、売上高は3,633百万円(前年同四半期比7.1%増)となりました。

③産業機械

産業機械事業は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、売上高は780百万円(前年同四半期比34.6%減)となりました。

④環境車輛

環境車輛事業は、受注は引き続き堅調に推移しており、売上高は1,921百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に偏る傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当第1四半期連結会計期間の総資産は78,759百万円(前連結会計年度末比6,793百万円の減少)となりました。

流動資産は、33,086百万円となり8,994百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少13,371百万円の方で、たな卸資産の増加4,574百万円によるものです。

固定資産は、45,672百万円となり2,200百万円増加しました。うち有形固定資産は、31,707百万円となり1,305百万円増加し、無形固定資産は、1,495百万円となり75百万円減少し、投資その他の資産は、12,469百万円となり970百万円増加しました。

流動負債は、20,818百万円となり7,240百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少3,932百万円、未払法人税等の減少1,839百万円によるものです。

固定負債は、13,720百万円となり338百万円増加しました。

純資産は、44,220百万円となり108百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加712百万円の方で、四半期純損失の計上322百万円、剰余金の配当416百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.2%から54.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,184百万円減少の8,340百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,088百万円の収入(前年同四半期は1,395百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少額13,718百万円の方で、税金等調整前四半期純損失366百万円の計上、たな卸資産の増加額4,597百万円、仕入債務の減少額5,138百万円、法人税等の支払額2,633百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,753百万円の支出(前年同四半期は1,237百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,694百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、503百万円の支出(前年同四半期は261百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額400百万円、配当金の支払額388百万円の方で、長期借入れによる収入300百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成26年5月8日に公表しました業績予想と変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が446百万円減少し、利益剰余金が285百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与えた影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,561	8,394
受取手形及び売掛金	22,819	9,448
電子記録債権	22	78
商品及び製品	1,381	2,034
仕掛品	3,258	6,235
原材料及び貯蔵品	2,350	3,294
その他	2,731	3,636
貸倒引当金	△44	△35
流動資産合計	42,081	33,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,510	8,349
機械装置及び運搬具(純額)	1,810	1,975
土地	19,513	20,749
建設仮勘定	206	237
その他(純額)	361	395
有形固定資産合計	30,402	31,707
無形固定資産	1,571	1,495
投資その他の資産		
投資有価証券	9,199	10,327
その他	2,477	2,313
貸倒引当金	△178	△171
投資その他の資産合計	11,499	12,469
固定資産合計	43,472	45,672
資産合計	85,553	78,759

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,975	5,043
電子記録債務	7,592	6,391
短期借入金	2,742	2,240
1年内返済予定の長期借入金	1,875	1,875
未払法人税等	2,163	323
賞与引当金	966	503
役員賞与引当金	143	31
製品保証引当金	258	252
その他	3,341	4,154
流動負債合計	28,059	20,818
固定負債		
長期借入金	6,202	6,496
退職給付に係る負債	2,561	2,172
役員退職慰労引当金	152	158
その他	4,466	4,892
固定負債合計	13,382	13,720
負債合計	41,441	34,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	4,331	4,331
利益剰余金	34,387	33,934
自己株式	△235	△238
株主資本合計	43,229	42,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	2,529
繰延ヘッジ損益	4	0
土地再評価差額金	△1,804	△1,804
為替換算調整勘定	287	191
退職給付に係る調整累計額	△557	△489
その他の包括利益累計額合計	△254	427
少数株主持分	1,135	1,018
純資産合計	44,111	44,220
負債純資産合計	85,553	78,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	9,769	7,743
売上原価	7,355	5,618
売上総利益	2,413	2,124
販売費及び一般管理費	2,648	2,634
営業損失(△)	△235	△510
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	29	49
受取賃貸料	23	20
持分法による投資利益	—	42
貸倒引当金戻入額	28	8
その他	42	97
営業外収益合計	126	223
営業外費用		
支払利息	57	59
賃貸費用	6	2
持分法による投資損失	4	—
その他	3	9
営業外費用合計	72	71
経常損失(△)	△180	△358
特別利益		
固定資産売却益	0	0
持分変動利益	—	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除売却損	0	11
投資有価証券評価損	144	—
会員権評価損	12	—
特別損失合計	157	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△337	△366
法人税等	△43	48
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△294	△415
少数株主損失(△)	△38	△93
四半期純損失(△)	△255	△322

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△294	△415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	716
繰延ヘッジ損益	8	△3
為替換算調整勘定	203	△48
退職給付に係る調整額	—	68
持分法適用会社に対する持分相当額	101	△70
その他の包括利益合計	355	661
四半期包括利益	61	245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5	359
少数株主に係る四半期包括利益	67	△114

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△337	△366
減価償却費	296	352
のれん償却額及び負ののれん償却額	2	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29	△14
受取利息及び受取配当金	△33	△53
支払利息	57	59
持分法による投資損益(△は益)	4	△42
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	11
持分変動損益(△は益)	—	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	144	—
会員権評価損	12	—
売上債権の増減額(△は増加)	11,184	13,718
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,069	△4,597
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,147	△5,138
その他	△294	△217
小計	3,791	3,703
利息及び配当金の受取額	34	52
利息の支払額	△36	△34
法人税等の支払額	△2,393	△2,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,395	1,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,220	△1,694
有形固定資産の売却による収入	0	20
無形固定資産の取得による支出	△6	△7
関係会社株式の取得による支出	—	△10
貸付けによる支出	△0	△60
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△12	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,237	△1,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	79	△400
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△6	△6
単元未満自己株式の売買による収入及び支出	△2	△3
配当金の支払額	△324	△388
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△261	△503
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54	△1,184
現金及び現金同等物の期首残高	8,748	9,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,694	8,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	自転車	
売上高						
外部顧客への売上高	2,701	3,392	1,193	1,887	594	9,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	99	6	9	0	140
計	2,726	3,491	1,199	1,896	594	9,909
セグメント利益又は損失(△)	△468	155	12	102	△36	△233

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△233
セグメント間取引消去	1
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△235

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車輛	防災	産業機械	環境車輛	
売上高					
外部顧客への売上高	1,408	3,633	780	1,921	7,743
セグメント間の内部売上高又は振替高	80	77	0	56	214
計	1,489	3,710	780	1,977	7,957
セグメント利益又は損失(△)	△646	136	△69	71	△507

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△507
セグメント間取引消去	1
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△510

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において「自転車事業」に分類しておりました㈱ミヤタサイクルの株式を一部譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。これに伴い、当連結会計年度より「自転車事業」を報告セグメントから除外しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	1,345	△49.2
防災	2,111	+21.8
産業機械	1,389	+25.6
環境車輛	2,174	+8.4
合計	7,020	△7.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、販売価格で表示しております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	20,764	+34.0	23,996	+41.5
防災	1,101	+6.8	884	△6.9
産業機械	1,277	△0.7	2,990	△0.2
環境車輛	2,840	+0.6	2,942	+21.6
合計	25,983	+25.9	30,815	+32.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、販売価格で表示しております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

3. 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	1,408	△47.8
防災	3,633	+7.1
産業機械	780	△34.6
環境車輛	1,921	+1.8
合計	7,743	△20.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。